

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【公開番号】特開2017-77119(P2017-77119A)

【公開日】平成29年4月20日(2017.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-016

【出願番号】特願2015-204172(P2015-204172)

【国際特許分類】

H 02 M 3/155 (2006.01)

【F I】

H 02 M 3/155 W

H 02 M 3/155 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月21日(2017.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

逆接続保護回路部30では、少なくとも二次側電源部62(低圧側の電源部)の端子が図1のように正規の接続状態であることを条件としてスイッチ素子32A,32Bがオン状態になる。この場合、多相変換部4が動作していない状態では、スイッチ素子32A,32Bのゲート電位が二次側電源部62の正極電位(例えば12V)と略同電位になり、ゲート電位がソース電位よりも高い状態で維持されるため、スイッチ素子32A,32Bはオン状態で維持される。そして、ローサイド側のスイッチ素子6A,6Bのソース、入力側コンデンサ8A,8B、出力側コンデンサ10A,10Bは、いずれも基準導電路78と導通した状態で維持される。一方、二次側電源部62(低圧側の電源部)の端子が正負を逆にした逆接続状態である場合、スイッチ素子32A,32Bのゲート電位が二次側電源部62の負極の電位(例えば-12V)と略同電位になり、ゲート電位がソース電位よりも低い状態で維持される。このため、スイッチ素子32A,32Bはオフ状態で維持される。スイッチ素子32A,32Bがオフ状態であるときには、スイッチ素子6A,6Bのソース、入力側コンデンサ8A,8B、出力側コンデンサ10A,10Bは、いずれも基準導電路78と導通しない状態となる。更に、図1の構成では、二次側電源部62と出力側導電路72との間がオープン状態になった場合でも、スイッチ素子32A,32Bはオフ状態で維持されることになる。